

# 情報と情報との関係付けの仕方や、関係の表し方を指導し、使えるようにしましょう。

小3～6年・中学校でも適用可能

学年・領域	第5学年・書くこと
単元	グラフや表を用いて書こう
実施時期	11月頃

読むこと：「固有種が教えてくれること」教科書(P.137～)  
 情報：調べるときに使う「統計資料の読み方」教科書(P.148)  
 書くこと：「グラフや表を用いて書こう」教科書(P.149～)

### 【学習活動】

1 単元の目標を確認し、前時の学習内容を振り返る。

2 本時の課題と課題達成の姿を確認する。

自分の考えに説得力をもたせる資料を選ぼう。

3 情報を整理するための具体的な手段や「考え」に説得力をもたせる資料の選び方を理解する。

※ 資料と文章との関係を図示して視覚的に捉えることができるようにすることで理解が深まります。

4 各自、自分の考えに説得力をもたせる資料を選ぶ。

5 本時の学習を振り返る。

### 【学習活動3】において 資料から分かることを整理する

Aさんは「環境」に関わる資料を2つ集めて、資料から分かる事実と、資料を基に考えたことを、それぞれまとめました。気付いたことはありますか。



資料から分かる事実資料から分かる事実に書いたことが資料のどの部分とつながっているのか、青色を使って、丸や四角で囲んだり線をつないだりしています。どの部分のことを説明しているか、ひと目で分かります。



#### レジ袋を買うか ②

資料から分かる事実

- ・買う人五十五パーセント、買わない人四十五パーセントである。
- ・買う人が買わない人より十パーセント上回っている。

考えたこと

- ・マイバッグやエコバッグを使えば、資材の節約になると思う。

#### ごみの排出量 ①

資料から分かる事実

- ・二〇〇〇年から二〇二三年にかけて少しずつ減少している。
- ・二十三年間で千トン減っている。

考えたこと

- ・一人一人のごみを減らす努力の積み重ねの成果だと思う。

「資材を大切に」するという点でつながる

Aさんの考えに説得力をもたせるためには、①、②のどちらの資料を選ぶとよいでしょうか。

①、②のうち、Aさんの考えとつながりのある部分を赤色の線をつないで、考えてみましょう。

資料①の「ごみの減少は一人一人の努力の積み重ね」という考えたことと「資源を大切に」してほしいというAさんの考えとは、資料②と比べるとつながりが弱いと思います。

資料②の「資源の節約になる」という考えたことと、「資源を大切に」してほしいというAさんの考えは、つながりがあると思います。

確かに、資料②は、Aさんの考えとつながっているので、説得力が増します。

Aさんの考え

資材を大切に使う、持続可能な社会を目指すべきだと思えます。なぜなら、資材には限りがあるのに、資材を無駄づかいしている人が多からず。

### どうしてこの指導が大切なのか

情報と情報とを線をつないだり、印を付けたりして、視覚的に分かりやすく整理することによって、情報と情報との関係性を捉え、目的や自分の考えに合った情報を選ぶ力が身に付くからです。

○小学校報告書「情報の整理の仕方について交流する」P.50～の授業アイデア例もぜひ御覧ください。➔

